

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

半田病院事務局医事課

半田病院事務局長 竹内 甲司

整理No	事務事業名	3か年 実施 計画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
35-001	診断書等発行 事務事業	なし	B	診断書等については、その作成にあたり、病状経過の観察が必要なものなど、作成までに時間を要するものがあるが、医師や医師事務作業補助者(MA)等と連携を図ることで、診断書等の記載平均所要日数は5.0日となり、前年度と比べ0.5日短縮することができ、目標を達成することができた。	終了	診断書等の記載平均所要日数は5.0日で作成されており、目標に達しているとして、当該事業を終了する。
35-002	医事・診療報酬 請求事務事業	なし	B	院内に設置した、医師を中心とする保険医療検討委員会において、保険審査における査定や返戻の内容を分析することにより、査定等の防止対策を講じた結果、査定率は、前年度と比べ0.05%改善し、目標を達成することができた。	改善 推進	目標を達成できたが、今後もこの取り組みを継続していき、保険医療検討委員会で検討された内容を、医師等に対し、さらに情報提供を進めていく。 また、レセプトチェックシステムの精度向上を始めとした点検体制の強化を行なうことにより、適正請求による診療報酬の確保に取り組んでいく。
35-003	医療費未収金 対策事業	なし	B	現年度分診療費については、滞納者に対する早期の納付催告などの取り組みにより、未収金の発生防止に努めたが、入院患者数の増加に加え、医療費が高額となる健康保険未加入の患者や、交通事故の患者の医療費が未収となったため、現年度分診療費の収納率は、目標値に0.01%届かなかった。 しかし、今年度から、悪質な滞納者に対しては、弁護士法人へ診療費の回収業務を委託したことにより、過年度分診療費の収納率が伸び、全体の個人負担分の収納率は87.32%となり、目標を達成することができた。	改善 推進	現年度分の未収金の新規発生を防ぐため、長期入院の患者や、健康保険未加入の患者に対しては、早期介入を図り、患者負担の軽減が図れる制度等の利用を促しながら、未収金の発生を防止していく。 そして、未収金システムを活用し、適切な未収金管理を行ない、悪質な滞納者については、弁護士法人へ回収を委託していく。
課等長	1次評価(30年度の総括評価)					
B	診断書等発行事務事業については、前年度と比べ所要日数を短縮することができ、目標値を達成することができたため、事務事業評価事業を終了する。 診療報酬請求については、保険医療検討委員会等の取り組みの効果で、目標を達成することができた。今後も、医師との連携を図りながら、査定率低減に取り組んでいく。 未収金対策については、現年度分の未収金対策に重点を置いた取り組みを行うとともに、今年度から、弁護士法人に診療費の回収業務を委託した。これらの取り組みにより、収納率は向上し目標を達成することができた。					
部等長	2次評価(30年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
B	診断書等発行事務事業の評価事業は終了とするが、引き続き診断書等の平均所要日数の短縮に努め、患者サービスの向上を図ること。 診療報酬請求については、査定原因等の情報を医師へ提供していくとともに、委託業者と連携を図りながら、レセプトの点検強化を進めていくこと。 未収金対策については、引き続き新規未収金の発生防止に努めるとともに、回収困難な未収金については、弁護士法人にその回収を委託するなど、効果的な対策を進めていくこと。					